

宗像市 文化芸術のまちづくり10年ビジョン

～新しい日常に向けて（リビジョン）～

取組一覧

（市の文化芸術事業と今後検討していく取り組み）

令和4年3月版

			1	2	3	4
			市民が文化芸術を鑑賞・体験できる環境をつくる	文化芸術のつくり手の活動を支える	文化芸術を活用したまちづくりの推進	文化芸術に関する総合的な仕組みをつくる
No.	事業名	事業概要				
1	幅広い文化芸術の鑑賞事業	現行ビジョンより文化芸術の範囲を広げた上で、幅広い世代をターゲットとした文化芸術の鑑賞の機会を創出する。	◎			
2	文化講座の開催	宗像ユリックスにおいて通年で文化講座を開催し、文化芸術を体験できる機会の創出と文化芸術の作り手の育成支援を行う。	◎			
3	子育て世代向けの文化芸術事業	子育て世代向けの文化芸術の鑑賞の機会の創出や文化芸術のワークショップを開催する。	◎			
4	小学生を対象とした宗像ユリックスでの上質な文化芸術の鑑賞事業	宗像ユリックスにおいて、小学生を対象とした「音楽鑑賞事業」「芸術鑑賞事業」を実施し、本格的かつ上質な文化芸術を鑑賞し、体験する機会を創出する。	◎			
5	障がい者向け文化芸術事業	障がい者を対象とした文化芸術の鑑賞の機会の創出や障がい者がつくり手として様々な文化芸術を体験する機会を創出する。また、必要に応じて障がい者施設で文化芸術の鑑賞の機会を創出する、出張事業を実施する。			◎	
6	文化芸術分野において障がい者が活躍できるまちの実現	文化芸術分野において障がい者が活躍できるまちを目指し、施設や企業との連携、障がい者に関する情報を活用してアートマネジメントを行う。		◎		
7	日常的に文化芸術に接する環境の整備	日常的に文化芸術を披露する場の提供と、それを鑑賞することによる日常的な文化芸術に接する機会を創出する。特に「音楽があふれるまち・宗像」の取り組みを引き続き行いつつ、音楽分野を活かした文化芸術の日常化に取り組む。			◎	
8	大規模音楽祭事業	宗像ミアレー音楽祭などの大規模音楽祭を実施し、多くの市民が本格的な文化芸術を鑑賞する機会を創出するとともに、地元の文化芸術のつくり手が参加できる大規模な連携イベントを実施し、文化芸術の作り手の発表の場をつくる。	◎			
9	伝統的文化芸術のアウトリーチ	宗像市文化協会の行う文化芸術イベントへ来場することが困難な人に対し、伝統的文化芸術に触れる機会を創出する。	◎			
10	上質な文化芸術のアウトリーチ	ユリックスへ来場することが困難な人に対し、上質な文化芸術に触れる機会を創出する。	◎			
11	大学生のアウトリーチへの参加	福岡教育大学と宗像ユリックスの連携協定を活用し、福岡教育大学の学生を、市内で開催しているアウトリーチ事業に派遣し、文化芸術のつくり手としての経験をする機会を創出する。また、文化事業運営の実態を経験する機会としても活用し、文化事業に携わる人材の育成を図る。		◎		
12	中学生・高校生・大学生の文化芸術事業への参加	市内中学校、高校及び大学と連携し、学生が市が行う文化芸術事業に参加できる機会を提供し、文化芸術の発表の場やつくり手としての経験をする機会、事業の運営を体験する機会を創出する。				◎
13	小学校・中学校の指導者の派遣	小学校・中学校のクラブ活動や部活動の指導者不足を解消し、かつ様々な文化芸術に触れる機会を創出するため、宗像市文化協会が市内の小学校・中学校のクラブ活動や部活動に指導者を派遣する。また、小・中学生がクラブ活動や部活動で学んだ成果を、地域等で披露する機会を創出する。				◎
14	むなかた芸術祭	宗像市文化協会に所属する団体や指導者が上質な文化芸術を提供し、市民がこれらを鑑賞・体験できる機会を創出する。		◎		
15	むなかた文化祭	宗像市文化協会の協力のもと、市民の多種多様な文化芸術の発表の場、鑑賞の場を提供する。		◎		

宗像市 文化芸術のまちづくり10年ビジョン

～新しい日常に向けて（リビジョン）～

取組一覧

（市の文化芸術事業と今後検討していく取り組み）

令和4年3月版

宗像市 文化芸術のまちづくり10年ビジョン ～新しい日常に向けて（リビジョン）～ 取組一覧 （市の文化芸術事業と今後検討していく取り組み） 令和4年3月版			1	2	3	4
No.	事業名	事業概要	市民が文化芸術を鑑賞・体験できる環境をつくる	文化芸術のつくり手の活動を支える	文化芸術を活用したまちづくりの推進	文化芸術に関する総合的な仕組みをつくる
16	むなかた吹奏楽祭	市内を中心とした中学・高校吹奏楽部の発表の場を提供し、コンクール等のより大きな発表の場に向けた舞台を経験する機会を創出する。		◎		
17	むなかたこども芸術祭	宗像市内で文化芸術活動を行う子どもの発表の場を提供し、併せて子どもが文化芸術を鑑賞する機会を創出する。		◎		
18	吹奏楽部員音楽指導	九州管楽合奏団等のプロの演奏家が学校に出向き、市内の中学校、高校等の吹奏楽部員に指導し、市内吹奏楽部のレベル向上を図る。		◎		
19	国民娯楽の体験及び発表の機会の充実	国民娯楽（百人一首、お手玉、けん玉等）に関する事業を文化祭等で行い、市民が伝統的な遊びを体験する機会を創出し、伝統継承のきっかけとなる機会を創出する。	◎			
20	文化芸術活動事業補助金	文化芸術に関する補助金の見直しと資金的支援環境の整備を検討する。		◎		
21	デジタル技術を活用した事業	デジタル技術を活用した文化芸術事業を調査・研究し、新しい日常に対応した新たな文化芸術の取り組みを行う。特に文化芸術のオンライン配信（デジタルアウトリーチ）の研究を行う。			◎	
22	コーディネーターの養成	アートマネジメントを調査・研究し、地域課題の解決やまちづくりのために、市としてのアートマネジメントの活用やコーディネーターの養成・活用を行う。			◎	
23	伝統文化の継承に向けた体制の強化	伝統文化を次世代に継承するために、宗像市文化協会を支援することにより協会の活動等を見直し、伝統文化の推進の強化を図る。		◎		
24	「中村研一・琢二」作品の活用事業	市が保有する「中村研一・琢二」の作品を活かした事業を実施し、市民が市由来の芸術作品を鑑賞する機会を創出する。	◎			
25	文化芸術の情報の整備と活用	文化芸術に関わる人及び団体のデータベースを作成し、情報発信や活動支援に活用する。				◎
26	デジタル技術を活用した情報発信	SNS等を活用して文化芸術に関する情報発信を積極的に行う。				◎
27	文化芸術サロン	文化芸術サロンの設置やSNSを活用したインターネット上のコミュニティの設置など、文化芸術の交流や情報共有の仕組みを整備する。				◎
28	文化芸術ギャラリー	文化芸術ギャラリーを開設・運用し、無償で文化芸術を鑑賞できる環境を整備することにより、スピード感のある文化芸術活動の展開と文化芸術に関するニーズの把握を行う。				◎
29	宗像ユリックスの文化芸術交流における広域的な拠点化	文化芸術交流人口の増加に向けて、宗像ユリックスを広域的な文化芸術活動（団体）の活動拠点として位置づけを明確化し、実現に向けた様々な取り組みを行う				◎
30	企業等との連携事業	地元企業を中心に、文化芸術のイベント等の取り組みに関して企業との連携を図る。				◎
31	国際交流による文化芸術活動の推進	姉妹都市の大韓民国・金海市と歴史・文化に関する行政間の交流を検討する。また、ブルガリアフェスティバルなどの民間レベルでの国際交流、過去にイベント等で宗像市を訪れた国との交流を通じた市民の文化芸術活動の促進を図る。				◎
32	次期振興ビジョンの策定	新しい文化芸術振興ビジョンの策定を行う。	—	—	—	—